

記入例

健康保険一部負担金等免除申請書

被保険者証	記号	11010203	番号	123456
事業所名	〇〇株式会社 (電話番号) 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇			
被保険者	氏名	ふりがな けんぼ たろう 健保 太郎	男・女	生年月日 昭和 49年 5月 24日 平成

○免除対象者「ア・イ」に	ア	被保険者(本人)分	被扶養者氏名	けんぼ はなこ 健保 花子	男・女	生年月日 昭和 51年 10月 22日 平成
	イ	健康保険被保険者証	健康保険被保険者証	本人(被保険者) 00123 平成20年10月14日交付 記号 11010203 番号 123456	家族(被扶養者) 01123 平成20年10月14日交付 記号 11010203 番号 123456	
○免除を申請する理由に	東日本		<p>1. 住家が全半壊</p> <p>2. 被保険者が重</p> <p>3. 被保険者の行方が不明のため</p> <p>4. 福島原発の避難指示地域、計画的避難区域又は緊急時避難準備区域に指定されたため</p> <p>■避難指示地域、計画的避難区域又は緊急時避難準備区域に指定された住所</p> <p>[〇〇郡〇〇町〇〇字〇〇 〇-〇]</p> <p>5. 被災者生活再建支援法に規定する長期避難世帯となったため</p> <p>6. その他1~5に準じた事情があるため</p>			
	<p>※主たる生計維持者が亡くなられた、若しくは重篤な傷病を負った状態の方、又は行方不明である方については、全国健康保険協会福島支部へお問い合わせください。</p>					

以上申請します。

平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

申請者：(被保険者又は被扶養者)

住所(居所)	〒 〇〇〇-〇〇〇〇	福島 都 道 府 県	〇〇市〇〇町〇-〇-〇	〇〇アパート〇〇号室
氏名	健保 太郎			(印)
電話番号	〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇			

全国健康保険協会 福島支部長 殿

■免除申請書の記入もれや、証明書類の添付がもれた場合、申請書を返戻させていただくこととなります。ご提出前に、再度ご確認ください。
申請にあたり、ご不明な点があれば下記までご相談ください。



全国健康保険協会 福島支部

協会けんぽ

http://www.kyoukaikenpo.or.jp/

／ 業務グループ

TEL024-523-3915

※下記については、証明書類が添付できない方のみ記入してください。

申立欄	証明書類が添付できない理由	<div style="border: 2px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>免除を申請する理由により、原則、下記の証明書類の添付が必要となります。 証明書類の添付が何らかの理由により困難な方のみ「申立欄」と「申立証明欄」を記入してください。</p> </div>
	住家の被害状況又は生計維持関係の状況	

(申請者の事業主、親類又は知人等関係者の方が記入してください。)

申請者_____の申立が正しいことを証明します。	
平成_____年_____月_____日	
住所	都道 府県
氏名	印
電話番号	()
申請者との関係	

全国健康保険協会_____支部長 殿

●申請する際、免除を申請する理由により、以下の書類を添付してください。

①住家が全半壊若しくは全半焼した場合

- ・罹災証明書の写し・被災証明書の写し（罹災証明書の交付を受けることが困難な場合は、仮設住宅入居契約書、一時使用住宅入居契約書等、家屋の全半壊又は全半焼を前提条件とする契約に関する書類の写し）

②被保険者が重篤な傷病を負った場合

- ・罹災により1か月以上の治療を要すると認められる旨を記載した医師の診断書等の写し

③被保険者の行方が不明である場合

- ・警察等に行方不明者に係る届出をしていることが確認できるものの写し

④原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号）第15条第3項の規定による避難のための立退き又は屋内への退避に係る内閣総理大臣の指示の対象地域であるため避難又は退避を行っている場合、若しくは法第20条第3項の規定による計画的避難区域及び緊急時避難準備区域の設定に係る原子力災害対策本部長の指示の対象となっている場合

- ・避難指示等の対象地域に住所を有していたことが確認できるものの写し（被災証明書・住民票等）

⑤被災者生活再建支援法に規定する長期避難世帯である場合

- ・市町村が発行した「長期避難世帯に該当する旨の証明書」の写し